

ASA-IN 研究 問診票

お名前 性別 女・男
生年月日 年 月 日 (才)
身長 cm 体重 kg
本日の血圧 / mmHg

現在の胸の症状 一番近いものに✓をつけて下さい。

全く症状なし。

日常生活（普通に歩いているとき、階段の上り下り）では発作なし。

仕事や娯楽時の激しい動き、急速な動きまたは長時間体を動かしたときのみ胸の症状が出る。

胸の症状で日常生活がわずかに制限される。早足または2階以上の階段の上り下り、長い距離の歩行、上り坂の歩行、食後、寒冷時、風邪のあるとき、気持ちが昂ぶったりしたとき、または目覚めて数時間以内の歩行または階段昇降で胸の症状が出る。

胸の症状で通常の活動が顕著に制限される。通常のペースで平坦なところを歩いたり、一区間階段を上ると胸の症状が出る。

不快感なく身体活動を行うことができない。じっとしている時にも胸の症状が出ることがある。

今までかかったことのある病気を教えて下さい。

☐ 心不全 ☐ 脳出血（→ありのとき、いつ頃 ☐ 外傷（怪我） ☐ それ以外）

☐ 脳梗塞（→ありのとき、いつ頃 ）

☐ 慢性腎臓病 / 腎不全 ☐ 悪性腫瘍（→ありのとき、部位）

☐ 出血性疾患（→ありのとき、消化管出血 [あり・なし]、入院 [あり・なし]、輸血 [あり・なし]）
いつ頃？ ☐ 半年以内または何度も再発 ☐ 1年以内 ☐ 1年以上前

☐ 出血性素因（→ありのとき、病名 ） ※血友病など

☐ 3ヶ月以上痛み止めを服用している（→ありのとき、お薬の名前 ）

☐ 3ヶ月以上ステロイドを内服している

☐ 30日以内に大きな手術・怪我をした

☐ 閉塞性動脈硬化症 ☐ 大動脈瘤 / 解離 ☐ 透析

☐ 高血圧（お薬 [あり・なし]）

☐ 脂質異常症 / 高コレステロール血症（お薬 [あり・なし]、お薬の名前 ）

☐ 喫煙（ ☐ 今もすっている ☐ やめた（1ヶ月以上前））

☐ 糖尿病（ ☐ お薬なし ☐ 内服のみ ☐ インスリン）

☐ 冠動脈疾患（狭心症・心筋梗塞）の家族歴 ※両親・兄弟姉妹・祖父母・子供

当院以外でもお薬をもらっていますか？（はい・いいえ） ※はい、の場合は裏面に記載
またはお薬手帳を確認させてください。

CLINICAL FRAILTY SCALE - JAPANESE

臨床虚弱尺度

								
1	2	3	4	5	6	7	8	9
非常に健康である 頑健、活動的、精神的、意欲的な人々である。これらの人々は通常、定期的に運動を行っている。同年代の中では、最も健康である。	健康 活動性の疾患の症状はないものの、カテゴリ1ほど健康ではない。季節等によっては運動をしたり非常に活発だったりする。	健康管理されている 時に症状を訴えることがあっても、医学的な問題はよく管理されている。日常生活での歩行以上の運動を普段は行わない。	ごく軽度の虚弱 自立からの移行の初期段階である。日常生活で介護は必要ないが、症状により活動性が制限される。よく「動作が鈍くなった」とか、日中から疲れていると訴える。	軽度の虚弱 これらの人々は、動作が明らかに鈍くなり、高度なIADL(手段的日常生活活動)(金銭管理、交通機関の利用、重い家事)では介助が必要となる。軽度の虚弱のために、買い物や1人で外出すること、食事の準備、服薬管理が徐々に障害され、軽い家事もできなくなり始めるのが特徴である。	中等度の虚弱 屋外でのすべての活動や家事では介護が必要である。屋内でも階段で問題が生じ、入浴では介護が必要である。着替えにもわずかな介助(声掛け、見守り)が必要となることがある。	重度の虚弱 どのような原因であれ(身体的あるいは知的な)、身の回りのケアについて完全に要介護状態である。そのような状態であっても、状態は安定しており(6カ月以内で)死亡するリスクは高くない。	非常に重度の虚弱 完全に要介護状態であり、人生の最終段階が近づいている。典型的には、軽度な疾患からでさえ回復できない可能性がある。	人生の最終段階 死期が近づいている。高度の虚弱に見えなくても、余命が6カ月未満であればこのカテゴリに入る(人生の最終段階にあっても多くの人は死の間際まで運動ができる)。

上記のいずれかを選択してください。

他院での内服・コメント等